



FOREX WEEKLY REPORT

2017年5月29日

(株)新生銀行 市場営業第一部
SFXM-1705297388

I. 先週の動き

通貨			東京市場			海外市場			終日	
			始値	安値	高値	安値	高値	終値	安値	高値
ドル円 高値 112.13 安値 110.86	5/22	月	111.02	111.01	111.61	110.93	111.50	111.30	110.93	111.61
	5/23	火	111.30	110.86	111.35	110.98	111.86	111.78	110.86	111.86
	5/24	水	111.78	111.74	112.03	111.49	112.13	111.49	111.49	112.13
	5/25	木	111.50	111.50	111.78	111.66	111.96	111.83	111.50	111.96
	5/26	金	111.84	111.28	111.84	110.88	111.43	111.31	110.88	111.84
ユーロ円 高値 125.80 安値 124.13	5/22	月	124.29	124.29	124.88	124.13	125.28	125.07	124.13	125.28
	5/23	火	125.08	124.57	125.13	124.57	125.37	124.99	124.57	125.37
	5/24	水	125.01	124.97	125.22	124.95	125.40	125.08	124.95	125.40
	5/25	木	125.11	125.11	125.53	125.22	125.80	125.36	125.11	125.80
	5/26	金	125.37	124.70	125.41	124.17	124.92	124.37	124.17	125.41
ユーロドル 高値 1.1268 安値 1.1160	5/22	月	1.1196	1.1180	1.1210	1.1162	1.1264	1.1237	1.1162	1.1264
	5/23	火	1.1237	1.1222	1.1254	1.1176	1.1268	1.1184	1.1176	1.1268
	5/24	水	1.1183	1.1171	1.1192	1.1168	1.1220	1.1218	1.1168	1.1220
	5/25	木	1.1219	1.1212	1.1245	1.1194	1.1250	1.1210	1.1194	1.1250
	5/26	金	1.1210	1.1185	1.1216	1.1160	1.1234	1.1175	1.1160	1.1234

◆先週の動き

【5/22】ドル円は北朝鮮のミサイル発射を受けて朝方に安値110.85をつけた後、東京時間はドルの全面的な堅調さと、日経平均株価が終日前日比プラスで推移したことを背景に上昇。仲値過ぎに111.61の高値を示現した。その後は111円台前半中心の推移となったが、欧州時間にメルケル独首相の「ユーロがECBの政策により弱すぎるため、ドイツ製品が壮大的に安価となっている」という発言でユーロ買い・ドル売りの流れからドル円も軟調となり、NY時間には111円を割り込んだ。しかしカプラン・ダラス連銀総裁が「3月の利上げを含め、今年3度の利上げの基本シナリオはFF金利の短期的な道筋として適切」と発言したことで米債利回りが上昇。それに伴いドル円も反転し、NY市場を111.30で終えた。ユーロドルは東京時間に1.12台を割り込んで緩やかに下落し、欧州時間に1.1162の安値をつけた。その後、メルケル独首相のユーロ弱すぎる発言を受けてユーロが急上昇。NY時間に1.1264の高値をつけ、11月の米大統領選以降の高値を更新した。その後はカプラン・ダラス連銀総裁の発言を受けてドルが強含んだことを受けて緩み、1.1237でNY市場を終えた。ユーロ円は朝方に安値である124.10をつけた後は、総じてユーロドルの動きに影響を受けて124円台で推移。メルケル独首相の発言でユーロが上昇するとユーロ円も125.28の高値を示現。その後は小緩んで125円を割り込んだが、NY市場引けは大台を回復した。

【5/23】早朝の英マンチェスター爆破報道を受けたポンド円売りに連れてドル円は朝方に110.86(安値)まで下押ししたが、その後は欧州時間まで111円近辺で小動き。NY時間に入り、5月製造業PMI(52.5/予想53.0)、4月新築住宅販売(56.9万件/予想61.0万件)と低調な米指標が続いたものの影響は限定的、米予算教書発表後の米金利上昇とともに111円台後半まで上値を伸ばし、引けにかけて111.86の高値をつけた。東京時間のユーロドルは、1.1222-54の狭いレンジでの推移。欧州時間に入り、堅調な欧州株に伴い1.1268の高値までレンジを広げたが、予想を上回るユーロ圏5月製造業PMI(57.0/予想56.4)や独5月IFO(114.6/予想113.1)への反応は乏しくじり安。ジョイブレ独財務相の発言「ユーロの為替レート、独にとっては低すぎる」を受けて反発する局面も見られたが、米金利高を背景としたドル買いの中、大台を割れ1.1176(安値)をつけて引けた。



【5/24】ドル円はFOMC議事録待ちとなり、東京時間は111円台後半から112円を中心とした狭いレンジでの推移となった。欧州時間は、ドラギECB総裁の「ECBのフォワードガイダンスから逸脱する理由ない」という発言でユーロ売り・ドル買いとなり、その流れでドル円も上昇し、112.13の高値をつけた。その後に発表されたFOMC議事録は最近の経済減速が一時的であることを示す根拠を確認できるまで利上げは控えるべきだという見方をほぼ全員が示していたことが材料視され、米債利回りが急低下。それに伴いドルも下落し、111.49を示現。その水準でNY市場を終えた。東京時間のユーロドルは1.11台後半でほぼ横ばい。ドラギECB総裁の発言で1.1168の安値まで下落したが、FOMC議事録でドル売りとなり1.1220の高値まで上昇。高値圏でNY市場を終えた。ユーロ円はドル中心の相場だったこともあり、終日125円台前半を中心としたレンジ相場(124.95-125.40)であった。

【5/25】東京時間のドル円は、朝方111.50の安値をつけた後は動意が薄く111.60を挟んだ狭いレンジの中で推移となった。欧州時間に入るとユーロ円の上昇に連れてドル円も112円近くまで上昇。しかしその後は111円台後半でのレンジ相場となった。NY時間に入ると米新規失業保険申請件数(23.4万件/予想23.8万件)が予想より良かったことやブレイナードFRB理事の「世界経済は過去数年に比べて明るさを増している」という発言を受けて上昇し、111.96の高値を示現。しかしOPECと非加盟産油国が9ヶ月の減産延長合意の報道が流れると、カナダドルや豪ドルといった資源国通貨が対円でも急落し、ドル円もそれに連れる形で111.66まで下落した。NY市場の午後は緩やかに値を戻し111.83でNY市場を終えた。ユーロドルは終日1.12台前半を中心とした狭いレンジで推移。欧州時間に1.1250の高値をつけた後に軟化し、良好な米新規失業保険申請件数を材料に安値である1.1194をつけた。その後は1.12台前半での推移で終始した。ユーロ円は朝方125.11の安値をつけた後、東京時間から欧州時間にかけて上昇。125.80の高値をつけた後はユーロの軟化に伴い125円台前半まで下落した後は、同水準で横ばいのまま終えた。

【5/26】東京時間のドル円は、ポンドが主導するクロス円下落に連れて、朝方の高値111.84から下落。欧州時間に入っても米10年債利回りの低下を背景に下落し、110.88の安値をつけた。その後は反転し111円台を回復、米Q1GDP二次速報値(前期比+1.2%/予想+0.9%)、同4月耐久財受注(-0.7%/予想-1.5%)が予想比良好だったことを受けて111円台前半まで上昇した。予想を下回った米5月ミシガン大学消費者マインド(97.1/予想97.5)への反応は乏しく、NY市場の午後は111円台前半の推移で終えた。ユーロドルは、東京時間の午前中はポンドが下落したことに連動して頭の重い展開となり、1.12を割り込んだ。その後は1.12近辺での小動きとなったが、欧州時間に米10年債利回りが急低下するとドル売りとなり上昇。しかし1.1234の高値をつけた後は反落となり、予想を上回る米Q1GDP二次速報値もありユーロ売りが加速し、1.1160の安値をつけた。その後は1.11台後半での揉み合いとなり、1.1175でNY市場を終えた。ユーロ円は早朝に125.41の高値をつけた後、東京時間のポンド売りの流れから下落。その流れはNY時間に124.17の安値をつけるまで続いた。その後は124円台前半の小動きに終始した。

II. 今週の予想

通貨	今週予想		コメント
	安値	高値	
ドル/円	110.50	112.50	レンジ
ユーロ/円	123.00	126.00	レンジ
ユーロ/ドル	1.1100	1.1300	レンジ

◆今週の予想

今週もコミー元FBI長官の証言を控え、ロシアゲートがドルの重石となっている。一方、米6月利上げ期待が下支え要因となっていることから、ドル円はレンジ相場を予想。しかし、米経済指標が6月利上げ期待を後退させるような結果となれば、110円台までの下落も想定される。110円台では、断続的にドル買い興味が散見されそうだが、米10年債利回りが今年の最低水準を割り込むような動きとなれば、もう一段の下落リスクに要注意。ユーロドルもレンジ内での推移を予想するが、来週の英総選挙を控える中、ポンドが世論調査を受けて乱高下するようであれば、連れた動きとなりそう。ポンドドルが1.2750を割り込むと1.26台までの下落が見込まれる。その場合、ユーロドル、ユーロ円ともにレンジの下限を割り込むと考えられる。



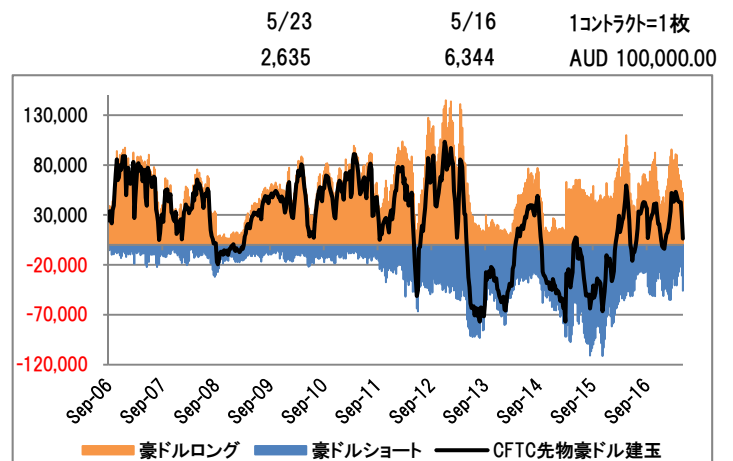
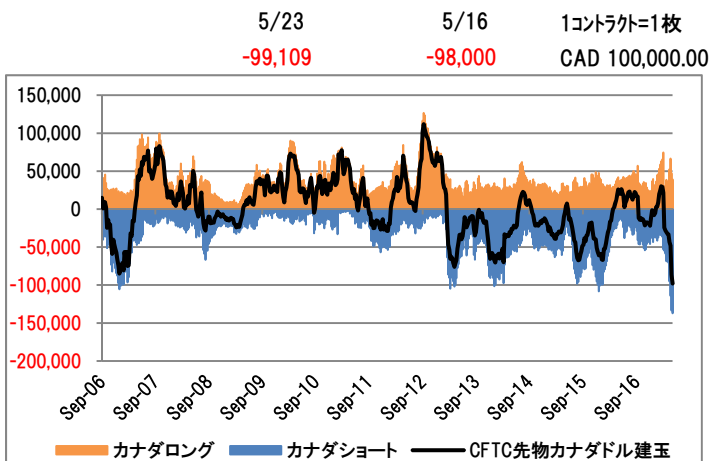
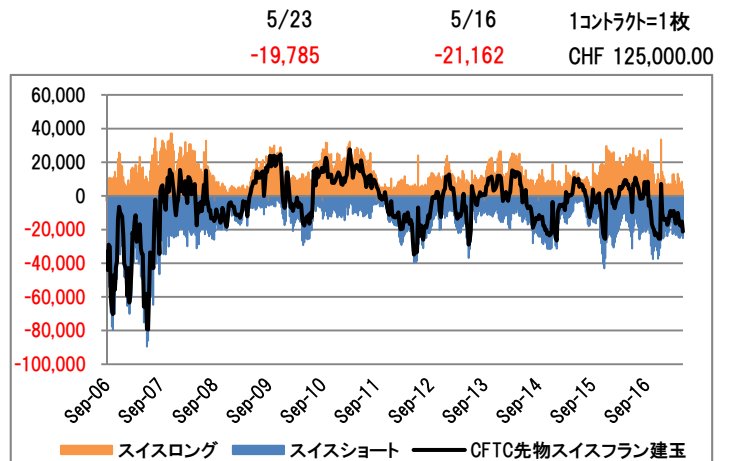
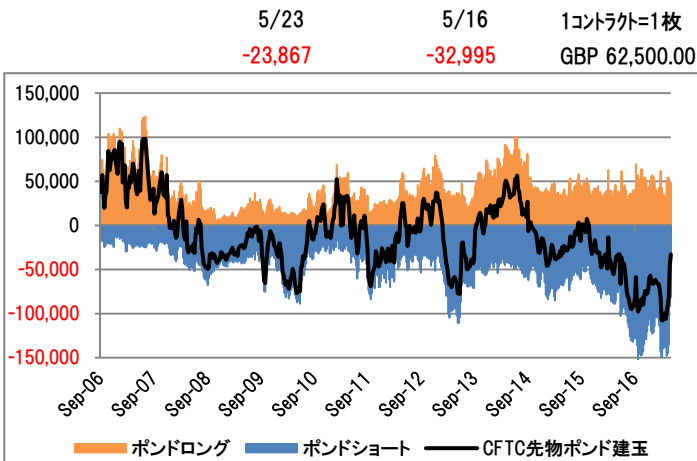
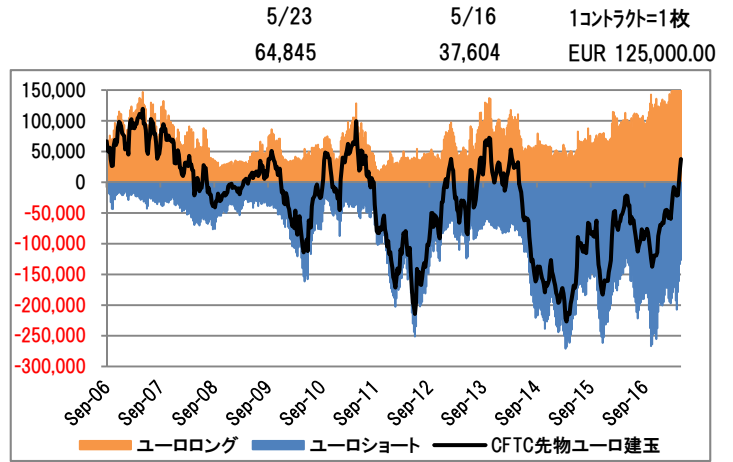
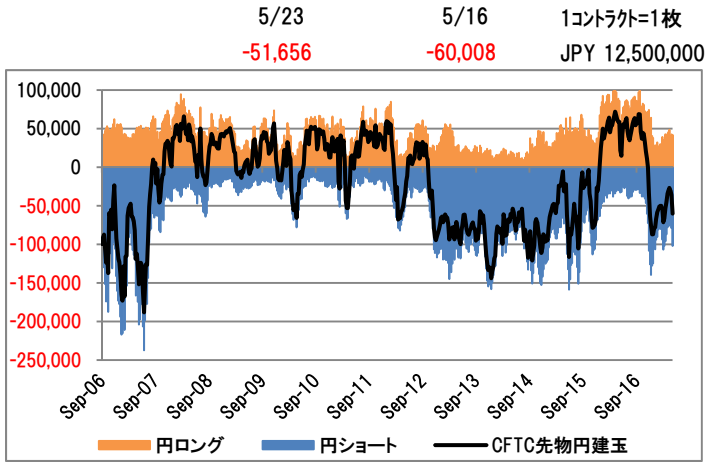
Ⅲ. 経済指標カレンダー

日付	時間	国	月	経済指標、要人発言
5月29日	メモリアルデー(米、英休場)			
	マクロン仏大統領、プーチン露大統領会談(仏ベルサイユ)			
	10:15	米		ウィリアムズ・サンフランシスコ連銀総裁、発言
	16:15	欧		ノボトニーECB理事、発言
	22:00	欧		ドラギECB総裁、発言
5月30日	中国、香港休場			
	8:30	日	4月	失業率
	8:30	日	4月	有効求人倍率
	18:00	欧	5月 確報値	消費者信頼感
	21:00	独	5月 速報値	消費者物価指数(前年比)
	21:30	米	4月	個人所得・個人支出
	22:00	米	3月	S&P/ケースシャー住宅価格指数
	23:00	米	5月	コンファレンスボード消費者信頼感
	2:00	米		ブレイナードFRB理事、発言
5月31日	8:50	日	4月 速報値	鉱工業生産(前月比)
	10:00	中	5月	製造業PMI・非製造業PMI
	16:55	独	5月	失業者数(千人単位)
	18:00	欧	4月	失業率
	18:00	欧	5月	CPI予想(前年比)
	20:00	米		MBA住宅ローン申請指数
	21:00	米		カブラン・ダラス連銀総裁、発言
	21:30	加	第1四半期	GDP(四半期/年換算)
	22:45	米	5月	シカゴ購買部協会景気指数
	23:00	米	4月	中古住宅販売仮契約(前月比)
	3:00	米		米地区連銀経済報告(ページブック)
	6月1日	EU、中国首脳会議(ブリュッセル、~2日)		
9:10		米		ウィリアムズ・サンフランシスコ連銀総裁、発言
10:30		豪	4月	小売売上高(前月比)
10:30		日		原田日銀審議委員、発言
10:45		中	5月	Caixin中国製造業PMI
16:55		独	5月 確報値	マーケット/BMEドイツ製造業PMI
17:00		欧	5月 確報値	マーケット ユーロ圏製造業PMI
17:30		英	5月	マーケット英国製造業PMI
21:00		米		パウエルFRB理事、発言
21:15		米	5月	ADP雇用統計
21:30		米		新規失業保険申請件数
22:45		米	5月 確報値	マーケット米国製造業PMI
23:00		米	5月	ISM製造業景況指数
23:00		米	4月	建設支出(前月比)
6月2日		21:30	米	5月
	21:30	米	4月	貿易収支
	21:30	米	5月	失業率



IV. IMM投機勘定

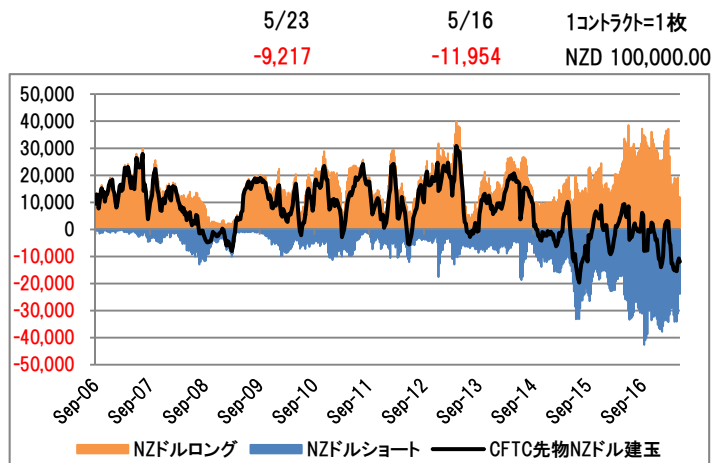
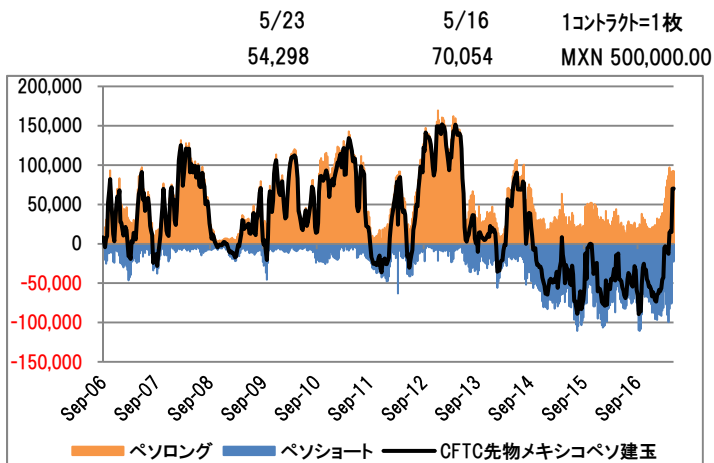
- ★ IMM投機勘定とは？IMM(シカゴマーカンタイル取引所内にある国際通貨取引部門)投機筋のポジション建て玉。
- ★「買い越し」(ネットロング)ポジションが過剰になると相場が天井を示し下落する可能性が高いといわれています。
- ★「売り越し」(ネットショート)ポジションが過剰になると相場が底を示し上昇する可能性が高いといわれています。



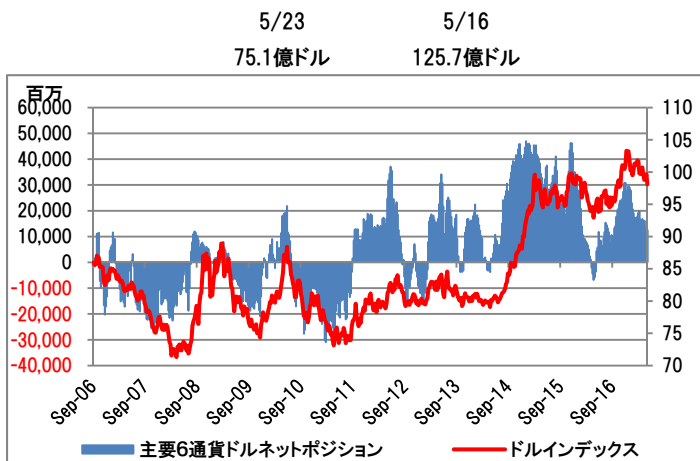


IV. IMM投機勘定

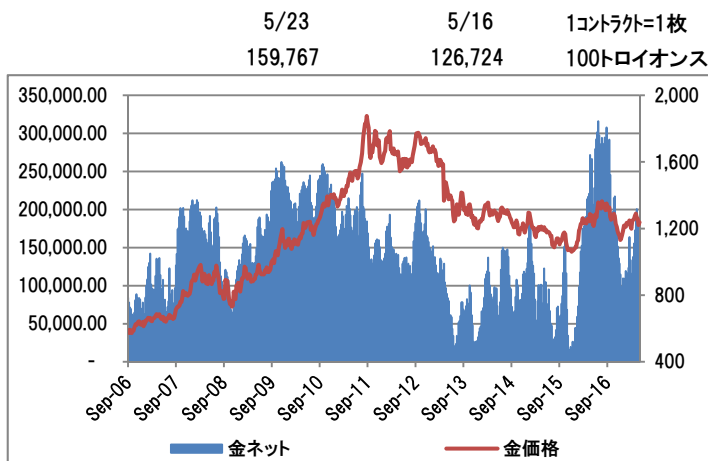
- ★ IMM投機勘定とは？IMM(シカゴマーカンタイル取引所内にある国際通貨取引部門)投機筋のポジション建て玉。
- ★「買い越し」(ネットロング)ポジションが過剰になると相場が天井を示し下落する可能性が高いといわれています。
- ★「売り越し」(ネットショート)ポジションが過剰になると相場が底を示し上昇する可能性が高いといわれています。



★対8通貨のドルネットポジションとドルインデックス



★COMEX金投機筋ネットポジションと金価格の推移



- ・この資料の無断での複製、転写、転載、改竄または配布は、禁止されています。
- ・この資料は、情報の提供を唯一の目的としたもので、特定の金融商品取引の投資勧誘・奨励を目的としたものではありません。
- ・金融商品取引を検討される場合には、別途当該金融商品の資料を良くお読みいただき、充分にご理解されたうえで、ご自身の判断と責任においてお取引をなさるようお願いいたします。
- ・金融商品によっては所定の手数料等をご負担いただく場合があります、また金融商品によっては証拠金や担保をご提供いただく場合があります。なお、具体的な金融商品が定まっていないため、現時点では手数料・証拠金・担保等の額または計算方法およびその比率をお示しすることはできません。
- ・金融商品によっては、金利水準、為替相場、株式相場等の金融商品市場における相場その他の指標にかかる変動により、お客様に損失が生じることがあり、またこの損失がお客様からご提供いただいた証拠金・担保(もしあれば)の額を上回るおそれがあります。
- ・商号等/株式会社新生銀行 登録金融機関/関東財務局長(登金)第10号
加入協会/日本証券業協会 一般社団法人金融先物取引業協会